

私の回顧録

物質工学科 寮務主事補 松井栄樹

幾度となく寮監をしていると、授業では見えない学生の生態が見えてきます。自分自身ではまだ若いつもりですが、実は学生とは一回り年齢が違ってしまっている事実を再確認し、今よりも若かった頃の自分を思い出します。

将来どころか現在置かれている状況ですら消化しきれず、苦しかった日。

人生の指標を求めて、本を読み音楽をむさぼり聞いた日。

自分の存在のあまりのちっぽけさに、頭の中が真っ白になり気力を失った日。

そして自分の意志で主体的に人生を歩んでいく大切さに気付いた、あの時。

寮生活では友達や先輩などの仲間がすぐそばにいます。仲間と共に時間を過ごしながら、また、それぞれも自分自身の将来（可能性）を真剣に考えてほしいと強く願っています。

そして寮を卒業する五年生の諸君、これからの健闘を祈ります！